

令和5年度の運動方針と決議事項

少子化とそれにとまなう人口減少、加えて超高齢社会の到来は、わが国の経済社会の将来に対する大きな懸念材料となっている。またウィズコロナにおける社会・経済活動の回復・両立、新しい生活様式の定着等もまだ途上にある。一方で高度情報通信社会は、生活文化、産業経済、自然環境を全体として調和し得る新たな社会経済システムであるとされ、ゆとりと豊かさの実感できる国民生活が実現されるものと期待されている。

このような急激な変革は社会を一層複雑化させ、私たちの暮らしを大きく変化させた。エネルギーミックス、食品の安全性や偽装表示、食品ロス、高齢者等の社会的弱者、若年者等に対する消費者被害など、新たに現れる問題は多岐にわたっている。まさに私たちの社会は大きな転換期を迎えているといえる。

このような状況であるからこそ、私たち一人ひとりの行動と選択が大きく問われている。広島消費者協会では、これまで、安全で安心、持続可能な消費生活を目指して、行政・事業者・消費者が互いに理解し、信頼し合い、数々の消費者問題を解決すべく取り組んできた。今後は、広島地域の消費者団体としての役割を再認識し、課題解決に向けてさらなる一歩を踏み出したい。

令和5年度の運動方針を次の事項に定め、事業計画ならびに予算案を編成した。

- 1 消費者の権利確保のため、国、自治体、事業者との相互理解を深め、積極的な情報開示を求めた取り組みを強化する。
- 2 SDGsに取り組む、ライフスタイルを見直すとともに、調査研究や監視機能を高め、消費者啓発・教育の観点から消費者の知るべき情報を積極的に発信する。
- 3 暮らしの中で起こる消費者問題に対し、情報を選択する確かな目を養い、自ら判断し行動する「消費者力」を高める。
- 4 人材の発掘と育成を目指し、会員以外の人たちに協会活動への積極的な参加を呼びかけ、地区活動の充実と組織の活性化を進める。

決 議 事 項

- 1 国、自治体、事業者との積極的な対話をとおして、相互理解と信頼に基づく活動を展開しよう。
- 2 暮らしの安全を見直すとともに、「もったいない」を常に心がけ、環境に配慮した消費生活を送ろう。
- 3 地区情報紙やwebサイトをとおして、魅力ある活動を積極的に情報発信し、活動の輪を広げよう。
- 4 地区活動や研究グループをとおして、人材を育成するとともに、他団体との連携を深めよう。